



臨時・非常勤等職員のためになる 政治選択をしよう

全国に推定60万人の自治体の臨時・非常勤等職員は、自治体が提供する公共サービスの最前線で責任の重い仕事も担っています。

それなのに一方的な雇い止めに歯止めもなく、賃金格差をなくしていく努力もされていません。法律に保護されるべき権利がほとんどないなかで働いています。正規職員と同じ仕事を低賃金で働くかされているのに、何の保護もない制度に政治の力が必要です。

そのために、

**選挙では
少しでも私たちの願いに
近い選択をして、**

自治体の臨時・非常勤等職員にとって、安定した雇用や待遇の改善を前進させましょう。



投票に行こう!!

自治労臨時・非常勤等職員の課題

■任期の定めのない短時間勤務職員制度の創設

▷制度創設には新法が必要です。

■均等・均衡待遇に向けた待遇改善

▷国会質問による現状の追及と、均等・均衡待遇を誘導していく新たな法律が必要です。

■安定した雇用

▷不当で一方的な雇い止めに対する歯止めが必要です。

■公共サービスの充実

▷保育、介護、看護、文化、体育、交通など臨時・

非常勤等職員が担っている多くの公共サービスに対する予算確保などが必要です。

■公正な労働

▷労働者が安心できる労働法制の実現や、労働者が犠牲にならない入札制度の実現が必要です。

■臨時・非常勤等職員を含む公務員にも 労働者としての権利を

▷労使合意が守られる公務員制度改革が必要です。

国民の生活が第一



比例
代表 は『民主党』へ